

中学校再編に関わる保護者意見交換会の概要

【篠島地区】

日 時 令和7年5月16日（金） 午後7時00分～午後7時40分
場 所 篠島開発総合センター 集会室
参加者 13名

主な意見・質問

○中学校再編（学校統合）に関するアンケート調査について

Q：子どもたちにアンケートを取る予定はありますか。

A：今の段階ではありません。前にもお話ししたかもしれませんが、南知多中学校の統合をしてから半年くらいたった時にアンケート調査を行いました。その時に、生徒が、統合した後で、「今どう思っていますか」という質問に対して「統合してよかった」「どちらかといえば、統合してよかった」という意見が82%でした。「統合したのはよくなかった」「どちらかといえば、統合したのはよくなかった」という人が9%でした。ところが、統合する前に、統合について賛成だったか反対だったかという質問をした時に、子どもたちは「賛成だった」「どちらかといえば賛成だった」は40%だったのです。「反対だった」「どちらかといえば反対だった」は52%でした。つまり、子どもたちは、統合する前、やはり「今の学校生活がいい」ものですから、新しい環境に出ていくのはやっぱり不安に思っていて心配だという意見が多かったのです。

保護者にも同じ時期にアンケートを取りました。保護者の方々は、「統合してよかった」「どちらかといえば、統合してよかった」という意見が88%でした。「統合したのはよくなかった」「どちらかといえば、統合したのはよくなかった」という人が6%でした。その保護者の方が、統合前にどう思っていたかというのと、「賛成だった」「どちらかといえば賛成だった」は75%、「反対だった」「どちらかといえば反対だった」は19%でしたので、保護者の方はどちらかといえば統合に前向きだったのだけれども、統合したら、よりよかったという結果が出ているのです。しかし、子どもたちは、統合前はとても不安で、統合反対でした。しかし、統合した後の結果を見てみると80%を超える子どもたちが満足しているという結果だったのです。それもあったものですから、保護者の方に今回アンケートを行います、家でお子さんと十分話し合って答えていただきたいと思います。その時に気を付けなければいけないのは、「子どもたちは、不安な気持ちでいる」というのが出ているものですから、その辺も踏まえながら、アンケートに答えていただきたいと思います。

Q：アンケートについて、答える年代別、未就学、小学生1年から3年の子、4年から6年の子、中学生で、それぞれ、この世代で賛成が何パーセントであったとか、この世代は反対が何パーセントであったとかが結果として知りたいです。

A：これは世代別にも出します。全体でも出しますし、各年代でこういうパーセンテージでしたというのも出します。今回のアンケート結果でどれが多いとか少ないで決定

する訳ではないです。「こういう結果でしたが、どう考えますか」というのをまた7月になったらお邪魔させていただいて、アンケート結果を見ていただいて、そこからまた考えることになります。その結果だけで決まりという訳ではないです。その後、早く通いたいという子についてどのように考えるかというのも、そこから議論が始まってくることになると思います。

○その他質疑

Q：統合して日間賀島の中学生が南知多中学校へ行き始めてこれで2年経ちます。授業参観や保護者会に親御さんたちはどうやって学校に行っているのか。各自が自家用車又は乗り合わせで行くことが多いと思うが、車の免許もなく、車もなく、他に頼む人もいない人がいたとして、お父さんは車の免許証は持っているが仕事で行けない場合はどうするのか。そういう家庭の事情によって保護者会などに出られない保護者が出てくる場合、どういう対応をしてくれるのか。

A：日間賀島の場合、行事などで親御さんが南知多中学校へ行く場合に、当初はチャーター船を出していました。しかし、チャーター船の場合に、保護者によって行く時間帯が違いうという意見があったため、2回目以降は無料の券を発行して、師崎を往復できるようにしました。ただし、師崎港から南知多中までについては、師崎に住んでいる方と同じですので、自家用車か公共交通機関を使っただき中学校まで行ってもらうことになります。車に乗れない方については、公共交通機関もしくはどなたかの車に乗せてもらって、乗り合いで行ってもらうという形を取っています。

Q：日間賀島の生徒が南知多中学校へ行き始めて2年、大きな事故もないと思うが、この話が出たときに、韓国の中学生在が客船で沈没していく中、中学生が窓越しにおぼれていく姿を見ていたときに、船の事故は、丘の乗用車やバスと違って、篠島でも日間賀島でも一緒かもしれないが、大勢の子どもたちが乗って出ていく中、衝突事故は聞いたことはないが、もしもそんなことがあると大変です。自分が統合に向けての話し合いをする中で一番反対したのは、そういう船の事故は、数十名の子どもの命にかかわるような事故にならなければよいが、一人落ちて大変だが、やはり船の事故が一番怖いです。日間賀島の子も篠島の子も漁師の家庭の子が多いと思うが、そういう大事故に備えての、こういうことが起きたらこういうことをしますみたいな対応の仕方は町の方では持っているのか。

A：船舶の関係の対応につきましては名鉄海上観光船に頼らざるを得ないところは正直言っております。ただ、これまで2年間篠島に来て意見交換会をしている中で、やはり皆さんは、船舶事故というよりも、地震が来たときの対応はどうするのかということを、毎回のよう質問されています。今どういう状況かと言いますと、まず、篠島にいるときに地震がきたとしますと、当然高台に上がってもらいます。次に、船舶に乗って、航行中に地震が起きた場合は、船長に従ってもらうことになります。師崎港から南知多中学校までのスクールバスについては、現状、知多半島道路を通行しています。知多半島道路ですと高台ですので、津波の影響はそんなにはないのですが、師崎や豊浜の生徒は、国道沿い、海沿いをバスが走って南知多中まで行きますので、地震

時にどこへ避難したら良いかということは、バスの運転手さんに従ってもらうことになります。バスの運行業者には、ここの区間はここに町が指定した避難場所がありますという、平面図を配布しています。それで、運転手さんの講習をしていただくことになります。バスではなくて、バスへ行くまでの道中、歩いている時に地震が起きた場合は、自己判断ということになりますが、高台に逃げてくださいということです。その時には、中学校にもバスの運行業者に示した平面図が渡してありますので、ある程度子どもたちにもここで、例えば地震が来たら、ここが、町が指定している避難所だよということを示してもらっていると思っていますので、そういったことで対応していただくことになります。

Q：篠島の子どもたちが通うようになった時には、あらかじめそういった場所にスクールバスで子どもたちに、ここだよと言うように説明してもらえるのか。

A：現状では、口頭での指導はされていますが、スクールバスを利用しての避難訓練はやっていないと思います。学校では大地震が起きたときに裏山の高いところに逃げる訓練はやっていますが、スクールバスを利用しての避難訓練まではやれていないような状況だと思います。

Q：統合は早くて令和9年度だが、今自分の子どもは小学6年生である。中学1年生から南知多中へ行きたいと言ったら行かせてくれるのか。

A：PTA総会の時に配ったアンケート調査（案）は、そういう場合にどうお考えですかという意見を聞こうと思っていました。しかし、様々なご意見をいただいて、今回はとにかくいつのタイミングで統合を考えるか、統合しないのかというのを考えるためのアンケートにしました。その後で考えていくことになると思います。少しでも早く行けるようになると良いのですが、みんなが揃って行くことを望みます。

Q：個人一人では行かせてもらえないのか。今の同級生と中学校に行きたくないと言ったらどうするのか。篠島の中学校には行きたくない場合はどうなるのか。行かせてくれないのか。

A：島の中で、南知多中へ通う子と、篠島中へ通う子が分かれるということは出来るだけ避けたいと考えています。しかし、個々の事情があるものですから、それを認めるかどうかというのは統合が決まってから検討することになると思います。その時にまた意見交換会を行うことになると思います。

Q：篠島から南知多中へ通うのに、船は朝1本ですか。篠島を経由して日間賀島へ行って師崎へ行くのか。両島から1本ずつ出るのか。

A：そこまではまだ決まっていません。

Q：日間賀中が統合してしばらく経ったかと思うのですが、日間賀の子たちが遅刻とかしたときに、定期船を使って、海っこバスに乗ってきているのは結構多いですか。

A：基本的に遅刻の場合は、次の船に乗って、海っこバスで向かうという、そういう子たちがほとんどです。

Q：実際に、そうしていますか。

A：そこまでは把握はしていません。親御さんが送っている可能性もあります。しかし、中学生くらいであれば、一緒に車に乗って来るということはあまり考えにくいです。自分で来ていると思います。

Q：欠席の率は師崎とかの子に比べて多いということはあるですか。自分の子どもだと遅刻なら、休めということになってしまうと思うのですが。

A：地区別に遅刻は把握できていません。

感覚的なことで申し訳ないのですが、海っこバスが無料化される前は、遅刻した場合、無料の券を渡して南知多中へ来ていただいていた時期が半年間位ありました。その時は、遅刻されていた子は、海っこバスの無料券を使って来ていた方が多いのではないかと思います、実際は親御さんが送ってきていたのかもしれない。

Q：スクールバスで通っている時の避難のことを私もずっと言っています。避難訓練は絶対必要だと思っているのですが、ずっと実施されない理由というのはあるのですか。

A：すいません。実施していない理由は正直ございません。まだそういった所まで手が届いていないというのが実情だと思います。そういった所も今後検討していかなければいけない問題かとは思いますが。

学校の先生と一緒にいって行って、避難場所を確認するという、そういった時間は取れていないです。ただ、今現在行っているのは、地震の避難訓練に際して、その前の説明のところで、自分の地区の登下校中に地震が起きた場合にどこへ避難するのかの避難場所の一覧をちゃんと生徒に渡るようにして、それで確認してもらうまでにとどまっています。

Q：中学1年生から3年生の生徒は全員が学校から一緒に帰ってくるのか。部活をやる子もやらない子もいる。全員が一緒に待っていて、一緒になって帰ってくるのか。船は多分1本だと思うのですが。

A：朝については、島の子たちは船とバスで、各地区の子たちはバスがそれぞれ動いているので、同じ時間に学校に登校できるようにバスや船が動いています。帰りについては、部活動をやって帰る子と、やらずに帰る子がいます。部活は希望制になりますので、実際に部活をやっていない子もいます。学校が終わって、まず部活のない生徒

は第1便のバス、16時10分のバスと船で帰ります。部活をやって帰る生徒については、5時15分の第2便のバスに乗って、その後船で帰ります。

Q：船は2便出るということですか。

A：16時10分のバスで師崎港まで行き、1便目はチャーター船で帰ります。2便目、部活をやって帰る子たちは、スクールバスで師崎港までは来ますが、師崎からは定期船に乗って帰ります。当初はチャーター船も考えたのですが、名鉄海上観光船の船員法の関係で、チャーター船をその時間帯に走らせられないということで、定期船という形になっています。ただ、日間賀島の子たちが乗ってくると、小さな船では乗れないということも出てくるので、できるだけ大型船（ハヤブサ）で運行してもらおうようにお願いしています。

Q：統合した日間賀島の子どもたちの中で不登校の子どもは出ていませんか。

A：昨年のこの場での説明の時に、陸の方では不登校の子どもがいて、日間賀の子はいませんということを言ったのですが、やはり、1年間トータルで見えていくと、カウントとしては30日を超える欠席については不登校という扱いになってきますので、日間賀にも数名います。年間トータルだと何名かは出てきています。

○その他自由記述意見

災害時の避難訓練は年に2回か1回必ず行ってください。身体で覚えないと、いざという時に動けません。

以前働いていたところでは、年2回の避難訓練を行ってやっと避難の対応が出来るようになりました。

避難訓練を未だに行っていないというのは明らかな南知多町の認識と自覚不足です。早急な対応をしてください。地震は明日起こるかもしれません。1日でも早く避難訓練をして動きを確認しておかないと大変なことになりますよ。